



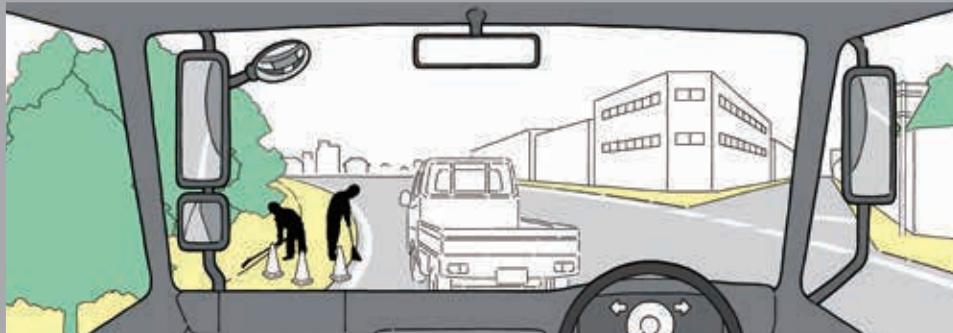
危険予知トレーニングで事故ゼロへ!  
脇見・車間距離不保持による  
追突



事故を未然に防ぐために、予測される危険や  
危険を避けるための運転について考えてみましょう。



どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？



交通  
状況

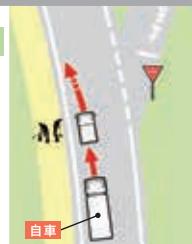
- 急ぎの依頼があり、制限速度を守りながら配達先に向かっています。
- Y字路交差点に差しかかるところで、前方左側の歩道に複数の作業員が見えました。
- “作業員がこの場所で何をしているのか？”と気になりました。

A

### このような危険が！

#### 追突の危険

- ・作業員に気をとられ注視をすると、脇見運転になる。
- ・先行車の減速に気付くのが遅れる。
- ・制限速度内でも先行車との車間距離が短いと、とっさの回避行動がとれない。
- ★時速40キロで走行していた場合、2秒間で「約22m」も進む。



### このような運転を！

#### 脇見運転をしない

#### “だろう”運転をしない

こんなところで“前車は減速しないだろう”という思い込みをしない。

#### 車間距離をとる

急いでいても車間距離を十分にとる。継続的な車間距離不保持は「あおり運転」となることも。

### “思い込み”は追突事故を誘発する一因に

「脇見」は、直線における追突事故の最も多い人的要因です。そして「脇見」を誘発するのが、“前車は減速しない”といった“思い込み”です。